

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療関係者問題調査検討会等経費	担当部局庁	医政局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和63年度～	担当課室	医事課、看護課、歯科保健課		課長: 田原克志			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-3 医療従事者の質の向上を図る					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	効果的な臨床研修の検討や医療関係者問題についての検討、その他医師等の再教育を行い、質の向上を目的とする。(①医師研修研究経費 ②医療関係者問題調査検討会費 ③外国人医師等臨床修練認定経費 ④医師等資質向上対策費)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添のとおり							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	19	116	51	58	40	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	19	116	51	58	40	
	執行額	14	83	47				
執行率(%)	73.7%	71.6%	92.2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	医療施設従事医師数 平成18年:263,540人、平成20年:271,897人 (103.2%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)		成果実績	人	-	280,431	-	前回調査以上
			達成度	%	-	103.1	-	
	就業看護職員数 ※医政局看護課調べ		成果実績	人	1,397,333	1,433,772	1,470,421	前年度以上
		達成度	%	101.4	102.6	102.6		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	検討会開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	60	62 (72)	31 (67)	- (31)
	臨床修練許可件数 (臨床修練医、臨床修練指導医、臨床修練歯科医、臨床修練指導歯科医)		活動実績 (当初見込み)	件	122	48 (72)	69 (67)	- (75)
	再教育研修開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	2	2 (4)	2 (2)	- 2
	看護職員就業状況等実態調査 対象者数		活動実績 (当初見込み)	人	-	39,134 (780,50)	- (-)	- (-)
単位当たりコスト	838,710(円/開催1回当たり)		算出根拠	23年度執行額(検討会等経費)/23年度検討会等開催回数				

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	諸謝金	15.3	14.8	調査委託費の終了による削減
	職員旅費	0.3	0.4	
	委員等旅費	15.2	17.4	
	庁費	6.4	7.3	
	調査委託費	20.5	-	
計	58	40		

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医師臨床研修制度やチーム医療等に関して検討を行う事業であり、優先度が高い事業である。 ・国全体で議論の必要があるため、国で実施する必要がある。 ・必要に応じて理由を把握するよう努めている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の速記業務、会議資料作成については、1件当たりの額が少額となっており、随意契約となっている。それ以外は事務費の他、企画競争を行い競争性の確保を図っている。 ・受益者との負担関係は妥当である。 ・事業目的に則したもののみに支出を行っているため合理的であり、かつ必要なものに限定されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果実績及び活動実績から見て他の手段と比較して実効性の高い手段と言える。 ・適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。 ・臨床修練許可数や再教育研修など活動実績は概ね見込みにあったものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

点検結果

例年、予算額と執行額の乖離の理由を分析し、予算要求に反映するよう取り組んできたところであり、このため執行率は7割以上となっており、予算規模としては概ね妥当な水準であると思われる。今後も執行においては、業務の効率化や職員のコスト意識の向上に努め、更なるコスト削減に取り組むこととしている。

一方、今後も医療従事者の養成・確保等における様々な課題に対し、有識者による十分な議論を経て検討を進めていく必要がある。また、その検討過程においては透明性が求められているところである。

このため、予算要求に当たっては、コスト削減の取組を踏まえるとともに、新たな政策課題に対する検討に伴うコスト増も勘案し、予算額を精査することとしたい。

予算監視・効率化チームの所見

現状通り	医療関係者問題調査検討会等経費については、効果的な臨床研修の検討等を行うためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。
-------------	---

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)

削減	予算監視・効率化チームの所見は「現状通り」であるが、調査委託費の削減による減額要求を行った。(全体で約18百万円)
-----------	---

補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	88、91	平成23年行政事業レビュー	0074
---------------	-------	---------------	------

厚生労働省
47百万円

〔①臨床研修指導医が研修医を指導する上で、より効果的な教育訓練の技法を開発し、普及させるための検討、②医療関係者に関する検討会の開催、③外国人医師等が医療技術を修得するために、その研修に必要な範囲内における医療行為の認定、④行政処分を受けた医師等の再教育を行う。〕

A. 事務費
21百万円

〔検討会・懇談会委員にかかる謝金及び旅費、会議費等〕

【随意契約】

B. 大和綜合印刷(株)等(2)
5百万円

〔検討会の速記業務、会議資料作成〕

【企画競争】

C. (社)日本専門医制評価・認定機構
21百万円

〔専門医の認定のあり方や専門医を養成する研修施設の評価の在り方について検討〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.個人A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	委員会、検討会出席旅費	0.5			
謝金	委員会、検討会出席謝金	0.2			
計		0.7	計		0
B.大和綜合印刷(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	会議資料の印刷等	2			
計		2	計		0
C.(社)日本専門医制評価・認定機構			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	職員旅費等	13			
借料	会議会場借料	3			
その他	消耗品費、通信運搬費等	3			
謝金	委員等謝金	2			
計		21	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	謝金・旅費	0.7		
2	個人B	謝金・旅費	0.5		
3	個人C	謝金・旅費	0.4		
4	個人D	謝金・旅費	0.4		
5	個人E	謝金・旅費	0.3		
6	個人F	謝金・旅費	0.3		
7	個人G	謝金・旅費	0.3		
8	個人H	謝金・旅費	0.3		
9	個人I	謝金・旅費	0.3		
10	個人J	謝金・旅費	0.3		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	会議資料の印刷等	2		
2	扶桑速記印刷(株)	委員会、検討会の議事録作成	1		
3	東京ワークショップ	委員会、検討会の議事録作成	1		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本専門医制評価・認定機構	専門医に関する調査・研究	21		

【事業概要】

医療関係者問題調査検討会等経費

<p>事業概要</p>	<p>①医師研修研究経費 臨床研修指導医が研修医を指導する上で、より効果的な教育訓練の技法を開発し、普及させるための検討を行う。</p> <p>②医療関係者問題調査検討会費 良質で効率的な医療を確保するために必要な医療関係者に関する検討会を開催する。</p> <p>③外国人医師等臨床修練認定経費 我が国の医師等の資格を有しない外国医師等が医療技術を修得するために、その研修に必要な範囲内において、医療行為の認定を行う。</p> <p>④医師等資質向上対策費 行政処分を受けた医師等の再教育を行う。</p>
-------------	---